**要件定義書**

**〇〇〇〇〇〇システム**

**バージョン〇〇**

**作成者：〇〇〇〇〇〇**

**作成日：〇〇〇〇〇〇**

# はじめに

## 目的

システムの目的を記述します

## 対象読者と読み方

要求定義書の対象読者を記述します

## 定義範囲 (スコープ)

要求定義書が対象としているシステムの範囲を記述します。

券紙分岐図・フロー図やユースケース図、IDEF0を利用します。

## 製品の背景　（または開発の背景）

## 及び、製品定義範囲における問題記述（及び解決策）

これから開発するシステムの背景やヒアリング/インタビューなどで得られた問題点などを記述します。

一覧表形式で、自然分で表現します。

# 概説

概説は要求定義全体に共有する全対象について記述します。特別な指定がない部分は自然分で表現します。

## 利割関係者の一覧とその特性

利割関係者の一覧とその特性記述します。

## 製品の業務機能（製品の基本要求）と優先順位

これから開発するシステムが持つべき機能の一覧を記述します。これが「3.1　機能要求」の機能の元になります。

アクター/ユースケース一覧、ユースケース図を利用します。

## 稼働環境

現在のシステムの稼働環境やこれから開発するシステムの稼働環境（プラットフォーム）を記述します。

## 設計と実装の制約

開発するシステムの設計手法の制約や実装を特定の言語で行うなど制約時刻を記述します。

## 仕様上の仮定と製品の依存性

要求仕様を作成する際に仮定した環境や業務の条件などを記述します。また他の製品に依存するとことがあれば、明らかにします。

# 要求

2.2で示された業務機能の一覧を詳細に展開します。3.1.xというのは、xが1から繰り返し機能分だけであるという意味です。特別な指定がない部分は自然分で表現します。

## 機能要求

### 機能名

1. 実現される業務機能（基本要件）の概要

この機能が実現されることによって得られる利用者側のメリットなどを記載します。この際、アクター/ユースケース一覧に記載された使用頻度や処理件数なども詳細に記述します。

1. 利割関係者（ユーザー、要求者、その他）

この機能に関する利割関係者の一覧を記述します。主アクターを強調します。

1. 業務フロー/ユースケース/入出力フロー

この機能の業務フローやユースケースを示します。

ユースケース、アクティビティ図、シーケンス図を利用します。

補足的にデシジョンしりーなども利用します。

DFDやERDによって、データの流れ等を示します。

DFD、ERD、IDEF0、クラス図などを利用します。

1. ユーザーインターフェース

画面や帳票のユーザーインターフェースについて記述します。

画面遷移図、絵コンテ、画面・帳票イメージなどを利用します。

## システムインターフェーズ要求

### ハードウェアインターフェース

周辺機器など、コンピュータ本体以外に利用するハードウェアとのインタフェースに関する要求を記述します。

### ソフトウェアインタフェース

外部システムなどとのインターフェーズに関する要求を記述します。ユースケース図等でインターフェースを取るべき外部システム等を表現したり、コンポーネント図等を利用することもあります。

### 通信インタフェース

通信環境についての要求を記述します。

# 非機能要求（ソフトウェア品質属性）

* 1. 可能性・信頼性・効率性・
  2. 性能・保守性ｆ・
  3. ユーザビリティ・アクセスビリティ

# ぞの他の要求

# 付録

付録A:用語集

付録B:分析モデル

付録C：問題一覧

付録D:未決事項一覧

付録E:文書の規約

記録F：参考文献